

1. 市債現在高の推移

(単位：億円)

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
220.8	225.0	228.1	228.0	227.0	221.1	215.6	210.6	206.3

○標準財政規模に対する市債現在高の比率 南九州市 167.1

※県内 19 市 最高値 137.3 最低値 249.5 【南九州市 5/19】

2. 令和元年度南九州市決算に基づく健全化判断比率

(単位：%)

区分	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	7.3	7.6
早期健全化基準	25.0	350.0
財政再生基準	35.0	-

※実質公債費比率 … 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

※将来負担比率 … 地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものの。

○他市の状況 ※県内 19 市 最高値 2.5 最低値 11.0 【南九州市 8/19】

3. 償還のシミュレーション

事業費 40 億円として、R4 年度に合併推進債 36 億円を借り入れた場合の年間償還額の試算

合併推進債 36 億円 30 年償還（5 年据置） 年利 0.20% ※数字は概数

令和 9 年度まで 720 万円（利息分）

令和 10～34 年度まで 1 億 4,800 万円（元金と利息分）

【うち交付税措置額】

○令和 9 年度まで : 290 万円 ○令和 10～34 年度まで : 5,900 万円

【市実質負担償還額】

○令和 9 年度まで : 430 万円 ○令和 10～34 年度まで : 8,900 万円

※健全化判断比率の上昇は 1%程度と見込み、財政の健全化を保ちながら返済が可能と考えています。